

	重点努力事項	成果 及び 課題等	自己評価	本年度の改善策等
健康・体力の向上	(1)体力づくりの推進	○朝の運動(800m走)に継続的に取り組み、走力及び体力の向上がみられた。気力の高まり、健康生活への意識づけにつながった。 ○スポーツテスト結果を分析し、課題克服のための取組を推進した。 ○部活動に、目標をもって熱心に取り組み、体力向上につながっている。駅伝大会にも学校として参加、練習の成果を発揮できた。 ●健康生活と連動した体力向上の手立てを考えていく必要がある。	① 3.1 ② 3.0	2.9 <ul style="list-style-type: none"> 朝の運動(800m走)の実施 スポーツテスト結果分析を生かした体力向上の取組の推進 楽しく、鍛える体育の推進 複数職員での部活動指導体制の取組 健康な生活を目指す保健指導の充実 手洗い・うがい、お茶うがい等によるかぜ予防、インフルエンザ対策 家庭と連携した取組の充実 全校、学年に応じた安全指導の徹底 自ら考えて行動できる児童の育成を図る避難訓練の実施 通学路の安全点検、危険箇所の把握 食育指導の充実(栄養黒板の活用等) 給食時間を活用した食育指導の推進
	(2)健康的な生活習慣の育成	○朝の運動や外遊びの奨励、お茶うがいの取組等により、かぜ予防を進めることができた。保健室来室者も減少傾向にある。 ●健康面で、保護者の意識も少しずつ変容しつつある。家庭との連携を深め、児童の意識化を図っていく必要がある。	① 3.0 ② 3.0	
	(3)安全教育の徹底	○安全点検、日常点検を確実にし、危険箇所等の把握、修理等適切な対応を進めることができた。 ●安全指導等の日常指導の徹底により、更に児童の意識を高めたい。 ●通学路の点検を強化し、危険箇所等を把握、対策を強化したい。	① 3.0 ② 2.7	
	(4)食育の推進及び学校給食の充実	○給食等を通じた日常的な栄養指導により、偏食、残滓が減少傾向。 ●偏食等気になる児童への指導の工夫・改善を更に行う必要がある。更に感謝の気持ちの育成を図っていききたい。	① 2.8 ② 2.9	
学校関係者評価	講 評		評定	今後の改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> 朝の800m走は素晴らしい取組だと思う。東陽中との体力向上優良校のダブル受賞おめでとうございます。子ども時代に作った基礎体力は、一生の財産になる。先生方のご努力に感謝したい。 朝の800m走により、体力が向上していると思われる。また、それぞれが自信をもち、他の方面にも波及効果がでてきていると思う。 河俣や箱石からスクールバスでくる児童たちにとって、朝の運動は特によいと思う。歩く距離が短くなり、体力低下が心配であるため、ぜひ続けてほしい。朝食を食べてこない児童がゼロになるよう、早寝早起きするよう家族に協力してもらいたい。 		3.5	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上の取組の成果を生かし、体育の授業や日常的な取組の中で効果的な実践ができるよう工夫・改善を重ねていく。 歯磨きチェックやお茶うがい等の取組の継続、及び新たな提案、更に、健康生活の見直しにより健康的な生活習慣の

<ul style="list-style-type: none"> ・伝統の800m走は、通学等で大変だと思うが、子どもたちの体力向上のため続けてほしい。 ・毎朝の交差点での見守りは大変ですが、事故防止には大変役立っていると思う。 ・送迎用のスクールバス（ジャンボタクシー）の利用で、通学では安心している。 ・体力づくりには、ずいぶんきめ細かな指導がなされていると感じている。自己評価が2.9というのはとても厳しい自己評価だと思った。健康・体力づくりに関する意識づけが将来にわたってもなされることを望む。 ・学校での活動（運動）を通して、子どもたちがよい方向へ成長していることは素晴らしいと思う。体力がつくことで、子どもたちの声や態度に自信が出てきているのがわかる。 ・低学年から、体力向上に頑張り、生活面に良好な影響が出ているようだ。自信をもって落ち着いて生活している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定着を図っていく。 ・安全意識の更なる高まりをめざし、効果的な指導、日常指導の徹底を図っていく。 ・家庭と連携した食育の推進を図る。感謝の気持ちを育てる指導を進めていく。
---	---

自己評価欄 ①：1学期、②：2学期の評価、 評価・評定は、4段階評定（4：良好 3：概ね良好 2：やや改善が必要 1：改善が必要）

平成25年度 学校関係者評価票

八代市立東陽小学校 No. 4

	重点努力事項	成果及び課題等	自己評価	本年度の改善策等
開 か れ た 学 校 づ く り	(1)家庭、地域に開かれた学校づくり	○運動会、フリー授業参観、東陽フェスタ等学校行事等を紹介し、地域の方々に多く参加いただいた。 ○学校だよりの回覧等、地域全体への情報発信の検討を心がけた。 ●学校便り等、タイムリーな学校からの情報発信を心がけたい。	① 3.2 ② 3.4 3.0	・たより、通信等による学校情報の積極的な発信 ・行事、授業等の公開、紹介 ・放課後子ども教室実施及び活動内容の充実
	(2)交流活動、体験活動の推進	○ボランティア活動や諸活動への積極的参加が進められた。 ○地域行事等への児童の参加による貢献度は大きい。連絡及びきめ細かな準備等職員の動きが功を奏している。	① 2.8 ② 2.9	・地域行事等への積極的参加 ・奉仕・体験活動の計画・実践、及び充実
	(3)小中一貫・連携教育及び保小中の連携の推進	○中学校との相互乗り入れ授業の継続実施の成果があがっている。 ○伝統文化継承活動及び発表会の実践は、小中一貫・連携の大きな成果であった。更に充実したものになるよう実践を重ねたい。	① 2.9 ② 2.8	・小中一貫・連携教育の推進 ・保育園・中学校との連携推進 ・東陽町保小中連携指導計画に沿

	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園や中学校等との交流活動の推進を更に図る必要がある。 ●東陽町保小中連携指導計画にふまえて、地域あげでの啓発・提案が進まなかった。今後更に取組の充実を図っていく必要がある。 		つた実践の推進
学校関係者評価	講 評	3.8	今後の改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫・連携教育の取組として、伝統文化等の発表は、地域の一員としての自覚や伝統文化の担い手として成長することが期待できるし、ふるさとのことを知るいい機会になったと思う。 ・小学校だよりで、学校の情報がよく知らされている。予算の問題もあると思うが、約800部もあれば、全家庭、町内事業所等への配布もできる。 ・河俣阿蘇神社の秋の祭りに児童が参加していただき、地域住民は大変喜んでいる。 ・伝統芸能を小・中学生が再現してもらったことに、地域の皆さんは感謝していると思う。 ・学校に関係していない地域の方々が学校だよりを通して学校での様子を知ることができることはよいことと思う。 ・月に3回以上発行される「東陽小学校だより」により、学校の状況がよくわかり、読むのが楽しみである。発行も大変だと思うが、今後も継続していただきたい。 ・統合されて、各地区の伝承行事への参加が問題になっていたが、これまで通り参加ができて良かった。 ・運動会、フリー授業参観、東陽フェスタ等地域の方々が参加できる取組は、地域に定着してきており、楽しみな行事である。 ・統合の東陽小学校になったことで、東陽町全体が一つになって町民みんなが学校に関心をもつようになった気がする。それが、この開かれた学校づくりの大きな力になっていると思う。 ・「伝統文化継承活動」への取組と、その成果の発表は大変素晴らしかったと思う。地域性があり、将来、子どもたちの郷土への誇りや愛着にもよい影響があると思う。時間に無理のない限り、継続して取り組んでほしい事業である。 ・学校からの情報の発信がていねいになされている。地域との信頼関係も構築されている。小中一貫・連携は職員の意識改革による児童への教育効果が大きいので、少しずつでも前進してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・東陽町全体への学校だよりの回覧・配布等を継続し、学校教育内容の紹介等学校への理解促進と地域との連携を図っていく。予算の関係で全戸配布は難しいようだ。 ・交流活動、体験活動を通して、地域を愛し、互いに尊重できる心の育成につながっていく。保小中の交流活動も積極的に推進する。 ・「伝統文化継承活動」の取組をはじめ、小中一貫・連携の取組の成果と課題を整理し、次年度以降継続、充実した取組を進め、子どもたちの生きて働く力となるよう工夫・改善を行っていく。 ・保小中連携指導計画の取組を推進し、『あいさつ運動』、『ノーメディア』の取組等地域あげでの取組として展開していく。

自己評価欄 ①：1学期、②：2学期の評価、 評価・評定は、4段階評定（4：良好 3：概ね良好 2：やや改善が必要 1：改善が必要）

	重点努力事項	成果及び課題等	自己評価	本年度の改善策等
教育環境整備	(1)教室等の環境整備	○教室掲示の工夫、整理整頓に努めている。 ○教室内の整理整頓、整備がなされ、学習環境整備が進んだ。 ●たてわり班掃除に真剣に取り組む児童が増え、助け合いもみられるが、無言清掃の実践が徹底できていない部分がある。 ●廊下等の掲示に工夫がみられるが、効果的なものであるか要検討。	① 2.8 ② 3.2	3.1 ・教室等環境の整備 ・たてわり班掃除、無言清掃の推進 ・備品等の整理整頓、整備 ・安全点検の徹底、不備な箇所の改善・改修等 ・環境ISOの日常的な取組実施 ・美化作業、クリーン作戦の実施
	(2)施設、設備等の整備	○備品等の整理整頓や、校舎内外の整備が確実に進められている。 ○安全点検を確実に実施し、迅速に事後措置を行っている。	① 2.8 ② 3.5	
	(3)児童による美しい学校づくり	○節水・節電・ゴミ減量化の呼びかけにより、児童の環境問題への意識が高まり、日常的な取組につながっている。 ●学級園等の手入れ等、児童主体の取組推進が十分できていない。	① 3.1 ② 3.3	
学校関係者評価	講 評		評定	今後の改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設などの安全点検が確実に実施されており、子どもたちは幸せだと思う。 ・廊下も子どもたちが手拭きで掃除をしていてきれいだと思う。 ・教室、廊下がとてもきれいに掃除が行き届いていた。 ・各教室には、子どもたちの作品が多く展示されており、また、整理整頓もよくできている。毎回、学校を訪問する度に、教室の子どもたちの作品を見るのが楽しみである。 ・学校内もゴミが一つも落ちておらず、掃除がよくできている。また、季節の花々がよく手入れされており、学校を訪問するのが楽しみである。 ・教育環境整備についての先生方の評価、特に2学期はとても高い自己評価だと思う。力を入れておられると思う。先日、訪問したときも廊下等とても磨かれていると感じた。きもちのいい学習環境だと思う。 ・掃除が行き届いているのが気持ち良かった。廊下の輝きや、教室の展示を参観しながら、ホッとした気分になった。 ・暖房器具も設置され、安心した。 ・学校内外とも清潔感のある学校といつも感じている。 		3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内外の整理整頓、掃除、美化作業が、児童の主体的な活動となるよう、意識づけを図っていく。 ・廊下等の掲示について、職員全体で共通理解し、掲示内容の工夫・改善を図る。 ・学校版環境ISOの取組を更に進め、児童自ら考え、実践する取組の推進を図る。 ・校舎内外の安全確認の徹底を図り、修繕・整備を進めるとともに、児童が気づき危険回避につながる指導の徹底を図っていく。

自己評価欄 ①：1学期、②：2学期の評価、 評価・評定は、4段階評定（4：良好 3：概ね良好 2：やや改善が必要 1：改善が必要）